

三陸の海を放射能から守る

岩手の会

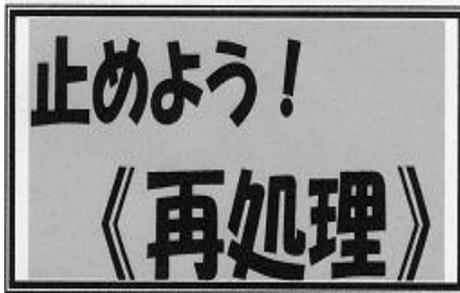
郵便振替 02240-5-102650

《再処理 / 岩手の環境》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag



《天恵の海》

2009(平成21)年

3月19日

第68号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

廃液放射能「原発の180倍」

麻生総理・二階大臣答弁



麻生太郎総理大臣



二階俊博経産大臣



主演了議員

参議院
予算委員会

参議院インターネット放送から

日本の沿岸を放射能から 守る決意を聞きたい

主演了議員(喜慶)が質問

岩手県選出の主演了参議院議員は、三月五日の予算委員会にて総括質疑を行い農政や地球環境について政府を質しました。特に、六カ所再処理工場の放射性廃液海洋放出について「廃液の放射能は原発の一年分を一日で出すということとは本当か?」と回答を求めました。二階俊博経産大臣は「ベクレルで計算すると原発の一八〇倍」という試算もある」と回答し、麻生首相も認めました。(まとめ尚)

「海洋放出放射能

原発一基の一八〇倍」

経産大臣回答

三陸の海の放射能汚染を憂慮する岩手の声を代弁し主演了議員は次のように質しました。

六カ所村の核燃再処理施設はこれまで様々なトラブルがあつて本格操業が遅れている。一年前、六カ所の廃液の濃度」について質問したがその時の政府参考人は「六カ所の方がベクレルでは二ケタ多くなる。しかし人体への影響評価のシールドにすると小さくなる」と答えました。六カ所工場の廃液の放射能は原発一年分を一日で出す」とい

うのは本当か?」と回答を求めました。

これに対して二階俊博経産大臣は「放射性物質の安全性は人体への影響の単位であるシーベルトで示されるが、周辺住民への影響は年間一ミリシーベルトを大きく下回る計算である。海に流される廃液の放射能物質の数(ベクレル)では原発の一八〇倍との試算も出来る」と答えました。

世界三大漁場」に原発一八〇基分の放射能を放出主演議員はこの回答を受けて「それは世界三大漁場の一つの三陸沖に向けて、原発が一八〇基も並んで操業していることになる」と考えられるがそ

う確認出来るのか?」と再確認しました。

これに対して二階大臣は「原発の一八〇倍であるが、安全性の判断は人体への影響で議論すべきである」と答えました。

稼働を止めても日本の沿岸を守る首相の決意を示せ

主演議員は海への放射性廃液は「海の土壌や回遊魚への影響があり、三陸沖の海流は茨城県、千葉県沖にまで達する。日本の沿岸を放射能から守らなくてはならない。総理大臣は、この再処理施設の稼働を止めても放射能汚染を防がねばならない。総理のご決意を伺いたい。」と質しました。放射能汚染について

あらゆる対処を行う

これに対して麻生首相は「二階大臣が答えたように一八〇倍であるが人体への影響については計算し直さないと不安を煽ることになりかねない、安全を守ると言うことは当然のことです」と答えました。二階大臣は「この放射性物質については自分のこととして受け止め、疑義が生じた場合にはあらゆる対応をして行く」と答えました。

未熟な技術による事故!

高レベル廃液漏えいに厳重抗議



六ヶ所村尾駁魚港防波堤 雪雲の下、3ヶ所沖合いに海底の放出口の位置を示すブイが見えた。2002年8月、このブイの海面から1万枚のハガキが放流された。

高レベル廃液漏洩事故に抗議する 抗議文(抄)

1月21日、貴社は、セル内において約150%の高レベル廃液の漏えい事故があったと発表しました。極めて危険な廃液が2系統のフランジ(パイプの止め金具)から漏れ回収はわずか16%とのこと。加えて2月にも再度漏れていたことが発覚し、貴社の稚拙な技術を世に知らしめました。セシウム137についての漏れた廃液の全量は1万4500キュリーであり、未回収分量は吸入摂取の場合18.8億シーベルトになります。これは、貴社大気放出年間管理目標値の25.9万倍となり、広島の実験場と比較すると約2.5倍になります。いったいこの未回収分はいったいどこに行ったのでしょうか。

当然他のヨウ素やトリチウム、ルテニウムなどの揮発性の気体や、微粒となった核生成物が多種含まれ、主排気筒より放出したことになります。フィルターにより除去できる粒径や核種は限られており、ヨウ素始め各種放射能の環境放出が想定されます。貴社はこの未回収分について厳密に公表する義務と責任があります。このような状況では危険な放射能を扱う資格はなく、大きな事故に発展する不安を禁じ得ず、貴社の再処理からの撤退を求めます。

六ヶ所村ラプソデー-東日本サミット参加者一同
花とハーブの里 ほか87団体

六ヶ所村ラプソデー-東日本市民サミットでは、再処理工場ガラス固化体セル内で起こった「高レベル廃液漏洩事故」についての抗議文を採択しました。この抗議文には全国八七の市民団体が賛同しています。二月一日、花とハーブの里の菊川慶子さんから代表八名(青森五、岩手二、宮城一)が日本原燃を訪れ、抗議文を読み上げて提出しました。原燃側からは広報渉外室鈴木良典副部長ら四人が応対しました。頻発する事故から重大故へ繋がる心配を指摘し、真相の究明とより詳しい情報の公開を要求しました。

核種ごとの収支を明らかにし環境汚染を説明せよ
市民側「環境への漏れがなかったのか全核種について質量単位で科学的な収支を明らかにせよ」
原燃「主排気筒などのモニタリングに変化がなかったので環境へ漏れていない。」
フィルターは調べたのか
市民側「溶解等工程の排気ではなく、セルの負圧排気筒にヨウ素を捕捉するフィルターが付いているのか。フィルターで捕捉出来た核種は何か。」
原燃「モニターには変動がない。フィルターはまだ取り替えていない。国への報告書が出るのでみてほしい。」
アラームがならなかった?
市民側「漏れ始めの一月

九日にアラームがならなかったのは何故か?
原燃「一月三〇日の発表にあるようにガス処理系圧力のアラームと受け皿液位アラーム、二二日の受け皿の放射性液の濃度測定で漏えいと分かった。」
未回収の放射性物質
市民側「セシウムだけでも広島原爆の死の灰の二・五倍が行方不明だ。どこに行ったのか。セル内にこびりついたのはどうするのか」
原燃「純水で洗浄し高レベル廃液貯蔵槽に戻す。」
住民説明会を行うべきだ
市民側「今回の事故について「B情報」として直ぐには住民に知らせなかったのはおかしい。その後の県民マスコミへの説明が不十分であり、住民

説明会を行うべきだ。高レベル放射性廃液が溜まり続けるのは、地震を考へても大変危険である。しかも、未熟な技術で事故続き。スケジュールありきをやめて再処理から撤退してほしい。
原燃「青森県内に震度4の地震があったときはチエックして報告することになっている。」
0000000000
再処理工場排水モニターに
異常波形出る
二月二〇日 三月二日
日本原燃ホームページで公表されている再処理工場第一放出前貯槽排水モニター(Rモニター)に二月二〇日と三月二日に、通常の二二〇〜一三五c.p.m.を超える一五八、一六一、一八八c.p.m.の高い数値のピークを描く波形が現れました。市民が各地から日本原燃に電話を入れるなど確かめましたが、「付近で行われた電源工事からノイズを拾ったかも知れない」などの回答でした。このため、岩手の会など青森・岩手・宮城の一〇市民団体は、「不完全なモニターでは安心出来ない」として、三月十日付けで日本原燃宛「質問状」を送付しました。四月十日までに文書で回答するよう求めました。

花とハーブの里訪問



途中、菊川慶子さんの農園「花とハーブの里」をみんなで訪問。おいしいコーヒーをご馳走になりました。ひっそりと雪に埋もれて春を待っていました。(武藤)